



発行所  
日川高校PTA  
事務局  
山梨市一町田中



PTA会長 手塚 俊樹

「give me five」

卒業生の皆さん、保護者の皆さま、ご卒業おめでとうございます。長い人生のごくごく一握りの時間の中で、皆さんは見違えるように成長されました。これはひとえに、勉強で、部活動で、課外活動で、達成感と挫折感を味わいながら、皆さん自身が学びえた努力の賜物です。そして惜しみなく後方支援をしてくれた保護者の皆様、先生方、本当にありがとうございました。

本校の正門を出て国道411号線を勝沼方面へ向かった下栗原の交差点に、地方新聞社支局があります。その建物の設計者さんと話す機会がありました。その方は「八ヶ岳の荒々しく雄大な姿をイメージして図面を引いた」と言っていました。「日川高校へ通う生徒さんが、八ヶ岳をイメージした建物とその背景には本物の八ヶ岳を見上げ、設計の世界に興味を持ってもらえたら」と、更には「息子には日川に行ってもらいたい」と言わせてしまう魅力のある学校なのだと思感した出来事でした。そして皆さんの屈託のない笑顔、挨拶を拝見しておりますと、卒業生ではない私でさえ誇りを感じます。

制限のあるコロナ最盛期に入学した皆さんが、少しだけ足を踏み入れる社会では、自分の考えで選択をする事ができる一方で、思い通りにならない不自由さと閉塞を感じる事になるでしょう。楽しいこと、嬉しいことがたくさんあるのが社会であれば、同時に、辛いこと、寂しいことがあるのも社会です。時に人を温かく包みこみ、時に人に厳しく接する社会において、

皆さんには、大きな夢を持って、自分を信じて生きていってほしいと願います。不思議なもので、人は大人になるにつれ、持っていた夢を現実に落とし込むようになります。それはつまらないことです。楽しくないことです。胸いっぱい、の夢を心に携え、いっぱい勉強して、いっぱい運動して、目いっぱい笑って、目いっぱい悲しんで、人生を謳歌してください。

未来は無限の可能性に満ちているというのを信じてください。他人と過去は変えられませんが、自分と未来は変えることができます。皆さんには本校で過ごした三年という何にも代えがたい事実があります。友達がいま。先生方がいます。曇りのない眼でまっすぐ進み、十年経っても二十年経っても希望に胸を躍らせる、そんな大人になってください。



「開也」  
校長 橋田 浩

卒業生の保護者の皆様には、この佳き日を迎えられましたことに心よりお祝い申し上げます。また、日頃より本校の教育活動に御理解・御支援を賜りましたことに感謝申し上げます。

先日、三年次生の集会において、本校図書館前の廊下に懸かる「開也」の額について紹介しました。これは、本校高校2回卒業の金井昭堂さんの書になります。「開也」は、高校生であれば、「開くなり」と読むでしょうか。国語科の教員としては、助字の「也」は置き字として、完了・存続の「り」をつけて、「開けり」と読む方がそれらしくも感じます。漲る力を感じる書体であり、卒業生の前途が洋々として開けることを祝福しているような素晴らしい書です。

さて、現在、本校が取り組んでいる事業に、「日川高校グラウンド人工芝生化」があります。これは、県立学校魅力向上プロジェクトの第一弾として、県と学校、同窓会が一体となって魅力ある施設設備等の整備を行うものです。令和四年度から令和七年度の事業化を目指しています。事業費は約1億7000万円であり、そのうち1億3000万円を目標として、「ふるさと納税」を活用したクラウドファンディングによって資金調達を図ります。教育環境の充実により本校の魅力が高まること、部活動等における練習環境の改善により競技力の向上が図れることなど、大きな効果が期待されます。また、人工芝グラウンドを地域の子供たちやスポーツ団体、高齢者などに開放することで、本校が核となって、地域の活性化も図ることができそうです。

日川高校の未来への資産となるグラウンド人工芝生化事業が実現できますよう、保護者及び卒業生の皆様には、本事業について御理解をいただき、ぜひ御協賛をお願いしたいと存じます。

本校は1901年に創立以来、峡東地域の雄として、各界で活躍する多くの卒業生を輩出し、また、ラグビー・野球・ウエイトリフティングなどの部活動を始めとする様々な活動を通じて、その名を全国に轟かせてきました。今後も、在校生及び卒業生一同の益々の活躍により、広くまた長く、その名が知れるよう学校の活性化を図っていききたいと思っております。

最後になりますが、保護者の皆様のPTA活動への御協力に、対しまして深く感謝申し上げます。結びといたします。

# 文学のスヌメ

三年次主任 望月 亜由

卒業生の皆さん、保護者の皆様、  
本日はおめでと〜うございます。

四年前、山梨大学に内地留学  
してました。研究テーマは「文  
学作品との向き合い方」です。こ  
のテーマにしたのは、昨今、その必  
要性が盛んに取り沙汰されている  
「コミュニケーション能力」の土台を  
文学教材での学びによって築く  
ことができる、そのことをぜひ確  
かめたいという思いからでした。

そもそも「コミュニケーション能  
力」とは「体何なのでしょうか。私  
は、それは、単に初対面の人とで  
もスムーズに会話ができるというよ  
うな表層的なものではなく、「価  
値観の異なる相手と出会ったとき、  
完全にはわかりあえないむなしさ  
に挫けそうになつても、根気よく  
合意形成を図つていこうとする能  
力」のことだと考えています。高  
度かつ複雑に発達した現代社会に  
おいて、人々の価値観は多様を極  
めています。私たちは、そんな状  
況下で、よりよい社会形成を目指  
したり、自己実現を図つたりして  
いくことを要請されているのです。  
そのことを前提としたとき不可欠  
なのが、「他者のコンテクストに対  
する感覚を磨くこと」であり、そ  
れを可能にする有効な方法の一  
つが、「文学教材を通しての学び」  
です。私たちは、文学教材のテキ

ストを丁寧に追いかけてながら、様々  
な読みの可能性を探り、行間を埋  
めていきますが、この「登場人物  
の心情や作品の主題に徐々に肉薄  
していく作業」の積み重ねこそが、  
やがて、他者との微細な価値観の  
違いをとらえたり、直接発せられ  
る言葉の背後に見え隠れする相手  
の本音を察知したりすることなど  
を可能にしていくのです。留学を  
経て、「文学教材における学び」  
が質の高い「コミュニケーション能  
力」の養成につながるはずだとい  
う私の考えは確信に変わりました。

高校を卒業すると、文学作品  
を皆で読解するような機会はほほ  
なくなりま〜す。しかし、文学が前  
述のようなものである以上、また、  
人の心の機微を丸ごと扱い、それ  
ゆえに、人生の不如意や不条理に  
振り回され、苦悩する人間の心を  
受け止めたり、相対化したりする  
役割を果たすことができるもので  
ある以上、文学には各人が生涯に  
わたり親しんでほしいと思います。  
卒業生の皆さんの活躍を心から  
お祈り申し上げます。保護者の  
皆様、これまでご支援ご協力、本  
当にありがとうございます。

「負けじ魂」〜何度でも  
立ち上がる勝者たれ

PTA副会長 三枝 智久

卒業生の皆さん、ご卒業おめ

で〜うございます。

保護者の皆様、無事にこの日  
を迎えられましたことを心から  
お祝い申し上げます。

さて、卒業生の皆さんにとつ  
て、日川高校での三年間は、ど  
んな毎日だったでしょうか。

勉強、部活動を通して、達成  
感や時には挫折感を味わったこ  
ともあったでしょう。人間関係  
に悩んだり、頑張つても、うま  
く行かずに、悩んで孤独を感じ  
たり、不安になったり、心が  
折れそうになったこともあるで  
しょう。しかし、周りの仲間や  
先生方の励ましがあつて、晴れ  
て卒業の日を迎えることができ  
ました。卒業生の皆さん、本当  
に三年間よく頑張りました。

私の好きな言葉に、「負けない  
とは、挑戦する勇氣です。仮に  
何度倒れようとも、何度でも立  
ち上がり、一歩でも、いや半歩  
でも前に進んでいくのです」と  
いう言葉があります。皆さんの  
将来には無限の可能性がありま  
す。是非、「負けない」人生を築  
いてください。

保護者の皆様、大切なお子様  
のご卒業、誠におめでと〜うござ  
います。

思い起こせば三年前、夢や希  
望に溢れた姿で入学式を迎えた  
お子様達の姿が、昨日のことの  
様に思えます。入学当時と今の  
息子の姿を見比べると、心身共  
に成長した姿にとっても感慨深い  
ものがありました。素晴らしい

仲間たちや、先生に恵まれて、  
かけがえのない三年間になった  
と思います。コロナ禍で大変な  
中でしたが、PTA活動へのご協  
力、本当にありがとうございます。  
した。

最後になりましたが、本日に  
至るまで、私達の大切な子ども  
達を、温かく、時には厳しく、  
根気よくご指導くださった、橘  
田校長先生を始め、教職員の先  
生方に深く感謝申し上げます。  
これからも、子供達の夢の実現  
へ、温かく見守つていただく様  
よろしくお願いいたします。

## 三年間を振り返つて

PTA副会長 初鹿野美由紀

卒業生の皆さん、ご卒業おめ  
で〜うございます。また保護者  
の皆さま、今日この晴れの日を  
迎えられましたことを、心より  
お祝い申し上げます。

そして校長先生をはじめ先生  
方には、三年間、子ども達のた  
めにとご尽力を賜りまして誠に  
感謝しております。

時が経つのは本当に早いもの  
ですね。新しい制服に身を包み、  
胸を踊らせるはずの入学式が、  
コロナ禍のため、行先が見えな  
い不安の中スタートしました。  
あれから三年後の今、こうして  
従来と同じスタイルで門出を迎

えることができたことを、大変  
嬉しく思います。

先生方におかれましては、正解  
がわからない手探りの中、子ども  
達のためにあの手この手と駆使し  
ていただき、少しづつ行事などが  
できるようになり、高校生活の三  
大イベント、紫風祭・強歩大会・  
修学旅行も無事終えることができ  
ました。子ども達の胸に、深く深  
く刻み込まれたことでしょう。我  
が子のように温かい愛情でこまで  
導いていただき、心より感謝して  
おります。

コロナ禍を経験してきた卒業  
生の皆さん、皆さんは色々な制  
限の中、今日まで本当によく頑  
張つてきましたね。素晴らしい  
です。これから皆さんは進学等  
で親元を離れる人もいるでしょ  
う。地元に残る皆さんも勿論の  
こと、今から色々な困難が待っ  
ているかもしれません。

でも皆さんなら大丈夫です。  
ここ日川で培つた経験があるか  
らです。

一筋の光を見失うことなく、  
三年間精進してきたことを糧に、  
これから大きく羽ばたいてくだ  
さい。吉報、楽しみにしていま  
すね。

こうして三年間を振り返り、  
役員として少なからず子ども達  
のために関わることができたこ  
と、また卒業生の一人として恩  
返しが出来たかな…と思ってい  
ます。貴重な経験をさせていた  
だきありがとうございました。